

## バームハイツ西葛西自治会（平成１６年発足）会則

平成２１年５月２４日改定

平成１６年７月２９日改定

平成１６年２月１日 改定

平成１６年１月５日 初稿作成

### 第一章 総則

#### 第一条 名称

本会は、『バームハイツ西葛西自治会』（以下「会」という）と称する。

#### 第二条 事務所

会の事務所は、これをバームハイツ西葛西内に置く。

#### 第三条 目的

会は、会員相互および近隣住民との協力のもと、バームハイツ西葛西管理組合と連携し、住みよい生活環境と安全・安心な暮らしの維持・向上を図るとともに、会員の親睦と福祉の増進に努め、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

- 二 会は、政治または宗教に関する活動および会の運営に資すると会が認めた場合を除く営利目的の活動をしてはならない。

#### 第四条 活動

会は前条第一項の目的を達成するため、次の活動を行なう。

- (１) 会員及び地域の安全に資する活動
- (２) 会員及び地域の生活環境の維持・向上に資する諸活動
- (３) 会員相互及び地域住民との親睦または交流を図る活動
- (４) 行政および関連諸団体との連絡、折衝、協力、交流に関する活動
- (５) その他、会の目的を達成するために必要な活動

### 第二章 会員

#### 第五条 会員

会の会員は、バームハイツ西葛西区分所有者と同居家族および賃貸居住者と同居家族とする。

なお、外部居住区分所有者およびその同居家族も、全て会員と見做す。

#### 第六条 入退会

会員は、住戸を購入した時、もしくは入居した時より会員の資格を取得し、住戸を売却した時もしくは退去した時にその会員資格を失う。

### 第四章 役員

#### 第七条 種別

会に次の役員を置く。

- |         |     |
|---------|-----|
| (1) 会長  | 1 名 |
| (2) 副会長 | 若干名 |
| (3) 会計  | 若干名 |
| (4) 監事  | 若干名 |
| (5) 書記  | 若干名 |

#### 第八条 職務

役員の職務は次の通りとする。

- (1) 会長は、会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- (3) 会計は、会の出納事務を担当し、必要な書類を整備・管理する。
- (4) 監事は、会の会計監査を行なう。
- (5) 書記は、総会、運営会議、その他の会議の議事録を作成し、保管する。

#### 第九条 選任

役員の選任は、次の手続きによる。

- (1) 役員は、総会において、これを選任する。
- (2) 役員候補者は、運営会議の決議を得て、総会に提出する。
- (3) 役員の役職は、運営会議において定める。
- (4) 監事と他の役員は、相互に兼ねることはできない。
- (5) 役員に事故あるとき又は欠けたときは、速やかに運営会議において後任の候補者を定め、総会において選任する。

#### 第十条 任期

- (1) 役員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。
- (2) 役員は辞任又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまで、その職務を遂行する。
- (3) 後任の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### 第十一条 解任

役員が会則に違反し、あるいは役員にふさわしくない行為を行なったと認められるときは、総会において議決権のある会員総数の過半数の議決をもって当該役員を解任することができる。

### 第四章 総会

#### 第十二条 種類

会の総会は、定例総会と臨時総会とする。

#### 第十三条 構成

- (1) 総会は、会の最高議決機関であり、会員をもって構成する。
- (2) 総会の議決権は、会員一住宅につき 1 議決権とする。

#### 第十四条 権限

総会は、次の事項を審議し、これを議決する。

- (1) 役員の選任及び解任
- (2) 活動報告及び決算報告
- (3) 活動計画及び予算
- (4) 組織の設置・改廃
- (5) 会則の変更
- (6) その他、運営会議において必要と認められた事項

#### 第十五条 開催・議決

- (1) 定例総会は、毎年一回、会計年度終了後 2 ヶ月以内に開催し、会長が招集する。
- (2) 臨時総会は、運営会議が必要と認めたとき、または議決権のある会員の過半数から請求があったときに開催する。
- (3) 総会は、別途定めのある場合を除き、議決権のある会員の過半数の出席（委任状を含む）をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。  
なお、可否同数の場合は、議長がこれを決する。
- (4) 総会の議長は、会長がこれに充たる。ただし会長は、自ら適任と認める会員を議長に指名することができる。
- (5) 総会で議決した内容は、できるだけ速やかに会員に対し、書面による配布または掲示をもって通知する。

### 第五章 運営会議

#### 第十六条 構成

運営会議は、役員をもって構成する。

#### 第十七条 職務

運営会議は、総会に次ぐ議決機関であり、次の職務を行う。

- (1) 総会で議決した事項の執行および管理
- (2) 会の運営に関し総会の議決を要しない事項の執行および管理
- (3) その他の必要かつ緊急を要する事項

#### 第十八条 開催・議決

- (1) 運営会議は、会長が必要と認めたとき、または役員の過半数から請求があったときに開催する。
- (2) 運営会議は、役員過半数の出席をもって成立し、出席役員の過半数をもって議決する。
- (3) 運営会議の議長は、会長がこれに充たる。ただし、会長は、自ら適任と認める役員を議長に指名することができる。

## 第六章 資産、会計

### 第十九条 資産

会の資産は次に掲げるのものをもって構成する。

- (1) 管理組合からの交付金
- (2) 寄付金品
- (3) 活動に伴う収入
- (4) 資産から生じる収入
- (5) その他の収入

### 第二十条 資産の管理

資産は、会長が管理し、その方法は運営会議の議決による。

### 第二十一条 経費

会の経費は、資産をもって支弁する。

### 第二十二条 活動計画および収支予算

会の活動計画書および収支予算書は、会長が作成し、運営会議の議決を得た後、総会の議決を得なければならない。

### 第二十三条 活動報告および収支決算

会の活動報告書および収支決算書は、会長が作成し、監事の監査を経て運営会議の議決を得た後、総会の承認を得なければならない。

### 第二十四条 収支差額の処分

会の収支決算に差額が生じたときは、総会の議決を得て、翌会計年度に繰り越すものとする。

### 第二十五条 会計年度

会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

## 第七章 会則の変更および解散

### 第二十六条 会則の変更

この会則を変更するときは、総会において議決権のある会員の四分の三以上の議決を得なければならない。

### 第二十七条 解散、残余財産の処分

会を解散するときは、総会において議決権のある会員の四分の三以上の議決を得なければならない。

- 解散時の残余財産は、総会において議決権のある会員の四分の三以上の議決を得て、
- 二 類似の目的を持つ団体、公的機関等への寄付するか、あるいは、議決権のある会員全員の念書添付を条件に、バームハイツ西葛西管理組合に管理費一時金として納入することができるものとする。

## 第八章 雑則

### 第二十八条 委員会

- (1) 会は、円滑な活動を行うため、委員会を設けることができる。
- (2) 委員会の組織、構成および運営に関して必要な事項は、会長が運営会議の議決を得て、別に定める。

### 第二十九条 書類、帳簿類の常備

会は事務所に次の各項に掲げる書類等を常備しなければならない。

- (1) 会則
- (2) 役員名簿
- (3) 総会議事録
- (4) 運営会議議事録
- (5) 予算書、決算書、活動計画 および これに付随する書類
- (6) その他必要な書類、帳簿類

### 第三十条 細則

この会則の施行に関して必要な細則は、会長が運営会議の決議を経て別に定める。

### ( 付 則 )

- 施行期日 本会則は、平成16年8月1日から施行する。
- 経過措置
  - (1) 会則の施行期日における役員は、この細則の定めに拘わらず、その任期は、フローア委員については、平成17年3月31日まで、フローア委員を除く執行部委員は、平成18年3月31日までとする。
  - (2) 会則発行に伴うその他必要な経過措置は、運営会議の起案、総会の決議を経て別途定めることができる。
- 確認事項
  - (1) 会の会費原資は、第18期バームハイツ西葛西管理組合の通常総会決議で、CATV 受信料の資金使途変更を以って確保されている旨、本件記載を持って確認する。
- 改正等1 平成21年5月〇日 自治会総会決議により、本会則〇〇条( )、本会則〇〇条( ) および、本会則〇〇条( ) を改正し、平成21年5月〇日から施行する。

## バームハイツ西葛西自治会 細則

平成16年7月29日改定

平成16年1月5日 初稿作成

バームハイツ西葛西管理組合自治会（以下「会」と呼称する）の運営については、会則の定めによる外、本細則によるものとする。

### 第一章 弔慰金およびその他支出

#### 第一条 弔慰金

会員（正会員、準会員共）が死亡した場合は、会より弔意金を霊前に供え、弔意を表わすこととする。

弔慰金額は、会員一律、一世帯当たり¥10,000とする。

#### 第二条 交付

弔意金は、運営会議の決議を以って交付する。

#### 第三条 予算外の各協会等参加費、近隣交際費

予算外の支出については、厳選の上、運営会議の決議、公示を経て、総会追認を条件に、会則第17条の運営会議専決権限内での運営に留める。

（平成16年8月1日 施行）